リーディングDXスクール事業 【実践事例】

広島市立牛田小学校（広島県）

【取組内容④】 研修での活用方法、業務改善に向けて②

校内活用シートの作成

「校内活用シート」というGoogleスプレッドシートを作成し、学年ごとにICT活用に関する実践を蓄積・共有できるようにした。シートに記入する内容としては、教科や使用したICT機器・コンテンツ、活動内容・活用場面、資料等があり、実践者が記入する。

校内ICT活用シート　作成者（　　）

活用場面	教科（　1年　国語科）
単元名／内容	おばさんと　おばあさん
めあて・目的	才列長音の使い分けができるようになる。
使用したICT機器・コンテンツ	オクリンク

活動内容 活用場面	主な学習内容／活用場面	ICT機器活用のポイント
	1．「おばさん」と「おばあさん」の違いを見つける。 2．教科書に載っている場面を読み、長音をみつける。 「う」と表記し、長音がポイントになる音葉があることに気づかせ、特別な表記の仕方を教える。 3．オクリンクを使って学びの定着を図る。 4．作成したものを友達と見合い、自分の間違いを訂正する。 5．提出ボックス2に訂正したものを提出する。	○NHK for school「ことばドリル　かなづかいのルール」の動画を活用し、シートを作成した。 ○表記が間違っている長音を正しく直す活動を行い、表記が「う」になるのか「お」になるのか考えさせ、特別な表記の仕方の定着を図った。 ○長音を固定し、「お」の文字を動かせる仕組みにして、正しく直せるようなシートを作成した。 ○最初に作成したものを提出ボックス1に、子供たちが話し合い、訂正したものを提出ボックス2に提出させ、理解しているか確認した。
活用効果	提出ボックスに入れ、友達と自分の作った音形を見比べながら、どこで間違っているのか確かめることができた。 提出ボックスを訂正前と訂正後で分けたので、理解できているか確認することができた。	

資料等のドライブへの移行

これまで学校用サーバーに保存していたデータを、Googleドライブへ移行し、保存するようにした。

成果と**課題**

- ◎いつでもどこでも資料を見れる。
- ◎共同編集ができる。
- ◎印刷する手間や資源の削減ができる。

Google Classroomを掲示板代わりに活用

全教員を招待したクラスをGoogleClassroomで作成し、暮会等で共有していた情報を、ストリームに投稿し、情報を共有できるようにした。

成果と**課題**

- ◎いつでもどこでも資料を見れる。
- ◎通知がタブレット上に出るため、見落としが減る。

今後に向けて

○校内活用シートを用いて、教職員間でICTを使った実践や活用方法を共有し、更なる効果的なICT活用を目指す。
○Google for educationの各種ツール（Googleカレンダー、Googleチャット等）を用いて、更なる業務の効率化を図る。
○来年度に向けて、紙媒体での学校プリントの配付廃止を目指す。